

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班				
事業名	ひょうご芸術文化元気プロジェクト（令和3年度～） （「芸術文化に親しむひょうご推進事業」より拡充）				連絡先	078-362-3171				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	6,078千円		5,894千円		7,260千円		17,350千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	6,078千円		5,894千円		7,260千円		17,350千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[芸術文化振興基金]）	(6,078千円)		(5,894千円)		(7,260千円)		(17,350千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
			2,603千円		2,520千円		2,695千円		2,621千円	
		職員給与費 a	2,345千円		2,181千円		2,309千円		2,282千円	
		賞与引当金繰入額 b	164千円		175千円		164千円		175千円	
退職手当引当金繰入額 c		94千円		164千円		222千円		164千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人		
		8,681千円		8,414千円		9,955千円		19,971千円		
	〔うち事業拡大部分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[10,090千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
			補助件数 （R元まで：地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）） （R2～：地域創生アクションプラン（事業KPI）、事業見直しにより指標変更）	目標	111	115		79	150	79
		実績（見込）	88	82	(23)	(150)				
		（単位当たりコスト）	(99千円)	(103千円)	(433千円)	(133千円)				
		〔うち事業拡大部分〕	-	-	-	[67千円]				
		達成率（見込）	79.3%	71.3%	(29.1%)	(100.0%)				
	鑑賞者数 ※きっかけづくり応援事業（～R元実施事業）を除く	目標	47,000	47,000	40,000	40,000	40,000			
		実績（見込）	39,652	33,883	(9,504)	(40,000)				
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		〔うち事業拡大部分〕	-	-	-	-				
	達成率（見込）	84.4%	72.1%	(23.8%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の芸術文化活動のすそ野を広げ、芸術文化に親しむ機会や場を充実させるため、県内芸術家の芸術活動や地域で気軽に芸術文化にふれる機会を提供する事業に支援を行った。 ・支出内容が明確な会場費（公演、展示事業）、印刷費（出版事業）を補助対象経費として定額を補助することで効率的な事業実施を図るとともに、出演費を補助対象経費とするものについては、上限を設けて補助することで、効率的な事業実施を図った。 ・R2年度は、新型コロナウイルスの影響で事業実施を控える団体が多く目標を下回っている。R3年度は芸術文化振興ビジョン改定年度であるとともにコロナ禍からの芸術文化活動の再開のため、補助額や採択件数を拡充し、制度の充実を図る。 									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班				
事業名	県民芸術劇場の開催（平成3年度～）			連絡先	078-362-3171				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	42,888千円	35,985千円	40,815千円	28,770千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	42,888千円	35,985千円	40,815千円	28,770千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔芸術文化振興基金等〕）	(42,888千円)	(35,985千円)	(40,815千円)	(28,770千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			868千円	840千円	899千円	874千円			
		職員給与費 a	782千円	727千円	770千円	761千円			
		賞与引当金繰入額 b	55千円	58千円	55千円	58千円			
退職手当引当金繰入額 c		31千円	55千円	74千円	55千円				
総コスト（①+②）		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
	43,756千円	36,825千円	41,714千円	29,644千円					
	[うち事業拡大分]	[6,400千円]	[0千円]	[4,030千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	県民芸術劇場の公演数	目標	129	110	130	93	93		
		実績（見込）	138	108	(50)	(93)			
		（単位当たりコスト）	(317千円)	(341千円)	(834千円)	(319千円)			
		[うち事業拡大分]	[46千円]	-	[81千円]	-			
		達成率（見込）	107.0%	(98.2%)	(38.5%)	(100.0%)			
	県民芸術劇場の鑑賞者数 （21世紀兵庫長期ビジョン フォローアップ指標） ※県民文化普及事業との 合算	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000		
		実績（見込）	99,953	89,806	(120,000)	(120,000)			
		（単位当たりコスト）	(0.4千円)	(0.4千円)	(0.3千円)	(0.2千円)			
		[うち事業拡大分]	[0.1千円]	-	[0.0千円]	-			
達成率（見込）		83.3%	74.8%	100.0%	100.0%				
評価	<p>・都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地での鑑賞の機会を提供するとともに、県内の公立文化施設等の活性化も図るため支援が必要であり、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。</p> <p>・R2年度の公演数は、新型コロナウイルスの影響により内定辞退があったため目標を下回っている。今後も市町等との連携を図りながら、より多くの県民が優れた舞台芸術を鑑賞、参加・体験できる機会を提供していく。</p> <p>・R3年度は、新型コロナウイルス感染への不安が解消されないと考えられる中で、通常のコンサートホール等での大規模公演の件数を減らした。代替事業として、県域文化団体のアウトリーチ活動や県内芸術家コンサートの全県展開など、身近な場所で諸人数編成でのコンサートを実施することで、事業目的は担保されている。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班			
事業名	芸術文化センター創造・公演事業（平成17年度～）				連絡先	078-362-3146			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	391,187千円		380,000千円		460,000千円		380,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	391,187千円		380,000千円		460,000千円		380,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(11,187千円)		(0千円)		(30,000千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[宝くじ収益金、事業基金]）	(380,000千円)		(380,000千円)		(430,000千円)		(380,000千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	12.0人		12.0人		12.0人		12.0人
			104,124千円		100,788千円		107,796千円		104,820千円
		職員給与費 a	93,792千円		87,252千円		92,340千円		91,284千円
		賞与引当金繰入額 b	6,576千円		6,984千円		6,576千円		6,984千円
退職手当引当金繰入額 c		3,756千円		6,552千円		8,880千円		6,552千円	
総コスト（①+②）	従事人員	12.0人		12.0人		12.0人		12.0人	
		495,311千円		480,788千円		567,796千円		484,820千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	芸術文化センター自主公演入館者数 （長期ビジョン推進方策フォローアップ指標）	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
		実績（見込）		370,156	317,935	(300,000)	(300,000)		
		（単位当たりコスト）		(1千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)		
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-			
	達成率（見込）		123.4%	106.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	年間ホール稼働日数 （～H29事務事業評価指標）	目 標		200	200	200	200	200	
		実績（見込）		331	321	(225)	(320)		
		（単位当たりコスト）		(1,496千円)	(1,498千円)	(2,524千円)	(1,515千円)		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率（見込）		165.5%	160.5%	(112.5%)	(160.0%)				
評価	<p>・ 県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。</p> <p>・ 例年に比べR2年度の総コストが高くなっているのは、財源へのネーミングライツ収入の充当や国庫の活用により、オペラ公演や新国立劇場との連携公演事業をより充実させているためである。</p> <p>・ 新型コロナウイルス感染症の影響がないH30年度は目標値を大幅に超える公演を実施。R元年度、R2年度については、新型コロナウイルス感染症により、事業の中止・延期を余儀なくされているが、拡大予防対策を講じながら公演を実施しており、芸術文化の普及・振興と、地域の活性化に寄与している。</p> <p>・ なお、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年間ホール稼働日数が大幅に減少する見込み。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課企画運営班				
事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施(平成17年度～)			連絡先	078-362-3146				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他〔観覧料等事業収入、宝くじ等〕)	(57,488千円)	(54,508千円)	(60,000千円)	(60,000千円)			
		(一般財源)	(27,512千円)	(30,492千円)	(25,000千円)	(25,000千円)			
	人件費②(a+b+c)	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人
			74,623千円	72,232千円	77,254千円	75,121千円			
		職員給与費 a	67,218千円	62,531千円	66,177千円	65,420千円			
		賞与引当金繰入額 b	4,713千円	5,005千円	4,713千円	5,005千円			
退職手当引当金繰入額 c		2,692千円	4,696千円	6,364千円	4,696千円				
総コスト(①+②)	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	
		159,623千円	157,232千円	162,254千円	160,121千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		施設内入場者数(地域創生戦略事業進捗指標)	目標	150,000	150,000	100,000	100,000	100,000	
		実績(見込)	98,871	114,660	(48,000)	(100,000)			
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(1千円)	(3千円)	(2千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	65.9%	76.4%	(48.0%)	(100.0%)			
	出前授業、展覧会鑑賞学習等の実施校数(長期ビジョン推進方策フォローアップ指標)	目標	60	60	60	60	60		
		実績(見込)	41	48	(28)	(50)			
		(単位当たりコスト)	(3,893千円)	(3,276千円)	(5,795千円)	(3,202千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	68.3%	80.0%	(46.7%)	(83.3%)				
評価	<p>・丹波焼をはじめとする陶磁器産地を有する県として、陶芸文化の振興・普及を図るため、県民に陶芸作品を身近に鑑賞する機会を提供することが必要である。</p> <p>・R元年度は、集客力の大きい特別展が開催されたことに等により、美術館全体の入場者及び展覧会入場者とも増加した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等による外出自粛や臨時休館、関連事業の開催中止などの影響で大きく減少している。ガイドラインに基づき感染拡大防止措置をとりつつ、魅力的な特別展の企画や効果的な広報、イベント内容の充実などにより、入館者の確保を図っていく。</p> <p>・学校との連携については、あらたに事業を紹介したパンフレットを作成し、引き続き、さまざまな機会を通じて学校へのPRを進め事業実施回数の増加を目指していく。</p>								
	3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班			
事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施（平成24年度～）				連絡先	078-362-3146			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	24,000千円		24,000千円		24,000千円		24,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	24,000千円		24,000千円		24,000千円		24,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	（0千円）		（0千円）		（0千円）		
		（県債）	（0千円）		（0千円）		（0千円）		
		（その他[宝くじ収益金]）	（5,000千円）		（5,000千円）		（5,000千円）		（5,000千円）
		（一般財源）	（19,000千円）		（19,000千円）		（19,000千円）		（19,000千円）
	人件費②（a+b+c）	従事人員	6.1人		6.1人		6.1人		6.1人
			52,930千円		51,234千円		54,797千円		53,284千円
		職員給与費 a	47,678千円		44,353千円		46,940千円		46,403千円
		賞与引当金繰入額 b	3,343千円		3,550千円		3,343千円		3,550千円
退職手当引当金繰入額 c		1,909千円		3,331千円		4,514千円		3,331千円	
総コスト（①+②）	従事人員	6.1人		6.1人		6.1人		6.1人	
		76,930千円		75,234千円		78,797千円		77,284千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）、全県ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000		
		実績（見込）	60,983	55,525	(70,000)	(70,000)			
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	87.1%	79.3%	(100.0%)	(100.0%)				
	展覧会関連事業参加者数	目標	1,500	1,500	1,500	1,500			
		実績（見込）	1,824	917	(1,500)	(1,500)			
		（単位当たりコスト）	(42千円)	(82千円)	(53千円)	(52千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	121.6%	61.1%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・事業コストは、ほぼ平準化してきており、今後は地域との連携強化の他、多様な広報を展開し集客アップに努め入館者数を目標に近づけることによりコスト低下を図る。なお、事業実施にあたっては、各種助成金を確保している。</p> <p>・横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあり入館者数は目標に達していないが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めており、年々目標値に近づきつつある。展覧会関連事業についても、横尾氏本人による公開制作等や親交の深いアーティストによるイベント、親子向けワークショップ等を引き続き開催し、当館の新たなファン層の拡大を目指すとともに、事業内容の充実を図る。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策としてイベント中止、休館等の対応を行ったため、R元年度実績は入館者、展覧会関連事業参加者数ともに前年度より落ち込んだが、R2年度はSNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、入館者数回復に向けた積極的な取組を行っている。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室（平成27年度～）			連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	7,945千円	7,598千円	11,200千円	11,120千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	7,945千円	7,598千円	11,200千円	11,120千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[芸術文化振興基金]）	(7,945千円)	(7,598千円)	(11,200千円)	(11,120千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
			2,603千円	2,520千円	2,695千円	2,621千円		
		職員給与費 a	2,345千円	2,181千円	2,309千円	2,282千円		
		賞与引当金繰入額 b	164千円	175千円	164千円	175千円		
退職手当引当金繰入額 c		94千円	164千円	222千円	164千円			
総コスト（①+②）		従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
	10,548千円	10,118千円	13,895千円	13,741千円				
	[うち事業拡大分]	[1,951千円]	[0千円]	[2,800千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
	子ども伝統文化わくわく体験教室実施校数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）※事業見直しによる指標変更）	目標	60	60	80	70	70	
		実績（見込）	61	60	(64)	(70)		
		（単位当たりコスト）	(173千円)	(169千円)	(217千円)	(196千円)		
		[うち事業拡大分]	[32千円]	-	[44千円]	-		
	達成率（見込）	101.7%	100.0%	(80.0%)	(100.0%)			
	子ども伝統文化わくわく体験教室開催回数	目標	150	150	200	175	175	
		実績（見込）	147	134	(147)	(175)		
		（単位当たりコスト）	(72千円)	(76千円)	(95千円)	(79千円)		
		[うち事業拡大分]	[13千円]	-	[19千円]	-		
達成率（見込）	96.4%	(98.0%)	(100.0%)	(0.0%)				
評価	<p>・次代の日本の伝統文化を担う人材を確保し、伝統文化を学ぶことを通じて、心の豊かさや生活の潤いを育む機会を提供するために、小・中・高校内で複数回（2回または3回）実施する伝統文化の体験事業への補助が必要である。体験事業に必要な経費の一部を支援することで、学校及び地域文化団体による伝統文化を体験する事業の継続的な実施へつなげていく。</p> <p>・事業を段階的に発展させていくために、4年目（H30年度）から実施校数を60校にし、6年目（R2年度）は80校に拡大したが、新型コロナウイルスの影響により、応募校数は64校に止まる見込みである。学校の授業・行事計画等の都合で2回開催の希望が多く、開催回数についても目標を達成できていない。</p> <p>・R3年度からは、従来の体験教室に加え、交通の便が悪い学校に対応し、新型コロナウイルスによる都市部以外の講師不足を解消するため、各分野の講師による指導動画を作成する。児童・生徒が安全安心な体験環境で伝統文化を学ぶことを通じて、心の豊かさや生活の潤いを育む機会を提供するとともに、次代の日本の伝統文化を担う人材の確保に努める。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調査

施策体系		充実する「自分時間」		所管課班		芸術文化課事業調整班				
事業名		ひょうごの文化発信リーディング事業（令和元年度～）		連絡先		078-362-3171				
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①		—		16,190 千円		16,180 千円		10,180 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		987 千円		977 千円		977 千円	
		委託料	—		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	—		15,000 千円		15,000 千円		9,000 千円	
		貸付金	—		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	—		203 千円		203 千円		203 千円	
	（財源内訳）	(国庫支出金)	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(県債)	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[芸術文化振興基金])	—		(16,190千円)		(16,180千円)		(10,180千円)	
		(一般財源)	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費② (a+b+c)		従事人員	—	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			—		2,520 千円		2,695 千円		2,621 千円	
	職員給与費	a	—		2,181 千円		2,309 千円		2,282 千円	
	賞与引当金繰入額	b	—		175 千円		164 千円		175 千円	
退職手当引当金繰入額	c	—		164 千円		222 千円		164 千円		
総コスト (①+②)		従事人員	—	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		—		18,710 千円		18,875 千円		12,801 千円		
[うち事業拡大分]		—		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	ひょうごの文化発信リーディング事業発信地区数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標）	目 標	—	—	8	9	10	10		
		実績（見込）	—	—	8	(8)	(10)			
		(単位当たりコスト)	—	—	(2,339 千円)	(2,359 千円)	(1,280 千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	100.0%	(88.9%)	(100.0%)				
	—	目 標	—	—	—	—	—			
		実績（見込）	—	—	—	—	—			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	—	—	—					
評 価	国内外から注目を浴びる機会である「ゴールデンスポーツイヤーズ」の開催に合わせ、本県の分厚い文化力を県内外へ積極的に情報発信するとともに、次世代に誇れるレガシーを創出するため、そのモデルとなるような活動を行う団体を支援する。この取組が県内の芸術文化団体に波及し、県内の文化活動がより活性化し好循環を生み出すことが期待できる。 (R3年度は、特認事業の補助上限を5,000千円→2,000千円に引き下げ ※R元年度・R2年度の実績平均)									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	ユニバーサル支援課社会参加支援班			
事業名	障害者スポーツ推進プロジェクト（平成27年度～）			連絡先	078-362-3237			
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額		
	事業費①		39,903千円	39,874千円	56,521千円	45,644千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	36,903千円	37,572千円	53,521千円	44,644千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	3,000千円	1,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	3,000千円	2,302千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）		(11,754千円)	(11,278千円)	(0千円)		
		（県債）		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）		(11,756千円)	(11,278千円)	(0千円)		
		（一般財源）		(16,393千円)	(17,318千円)	(56,521千円)		
	人件費②（a+b+c）		従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人		
			4,339千円	4,200千円	4,492千円	4,367千円		
	職員給与費 a		3,908千円	3,636千円	3,848千円	3,803千円		
	賞与引当金繰入額 b		274千円	291千円	274千円	291千円		
退職手当引当金繰入額 c		157千円	273千円	370千円	273千円			
総コスト（①+②）		従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人			
		44,242千円	44,074千円	61,013千円	50,011千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[5,396千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
	全地域の障害者スポーツ大会参加選手の増加		目 標	27,000	28,000	29,000	30,000	30,000
			実績（見込）	39,932	42,524	(29,000)	(30,000)	【令和3年度】
			（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(2千円)	(2千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	[0千円]	-	
			達成率（見込）	147.9%	(151.9%)	(100.0%)	(100.0%)	
	-		目 標	-	-	-	-	-
			実績（見込）	-	-	-	-	-
			（単位当たりコスト）	-	-	-	-	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
		達成率（見込）	-	-	-	-		
評価	<p>・東京2020パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、県内障害者スポーツアスリートの発掘や育成・強化、障害者スポーツに関する啓発、環境整備等を推進している。</p> <p>・本事業のスーパーアスリート特別強化支援助成金を活用する選手のうち3人が東京2020パラリンピック出場の内定を獲得した。</p> <p>・陸上や水泳の練習会（約30回）に延べ約1,000人の参加があり未来のパラリンピアンへの育成が図られた。また、しあわせの村で開催した体験会には延べ約3,000人の参加がありパラリンピックに向けて気運醸成が図られた。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	労政福祉課勤労者福祉班			
事業名	ひょうご仕事と生活センター事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-3362			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	141,392千円		155,921千円		209,027千円		239,120千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	118,647千円		142,633千円		149,027千円		153,120千円
		補助金・交付金	20,803千円		12,282千円		58,000千円		84,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,942千円		1,006千円		2,000千円		2,000千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(56,429千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔勤労者福祉基金繰入金〕）	(141,392千円)		(155,921千円)		(209,027千円)		(182,691千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.1人		1.1人		1.1人		1.1人
			9,545千円		9,239千円		9,882千円		9,609千円
		職員給与費 a	8,598千円		7,998千円		8,465千円		8,368千円
		賞与引当金繰入額 b	603千円		640千円		603千円		640千円
退職手当引当金繰入額 c		344千円		601千円		814千円		601千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.1人		1.1人		1.1人		1.1人	
		150,937千円		165,160千円		218,909千円		248,729千円	
	うち事業拡大分	[15,000千円]		[14,373千円]		[3,000千円]		[62,330千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度目標	3年度目標	最終目標【年度】		
		研修実施企業数（地域創生戦略事業KPI）	目標	200	200	200	200	200	
		実績（見込）	198	209	(200)	(200)			
		（単位当たりコスト）	(762千円)	(790千円)	(1,095千円)	(1,244千円)			
		うち事業拡大分	[76千円]	[69千円]	[15千円]	[312千円]			
		達成率（見込）	99.0%	104.5%	(100.0%)	(100.0%)			
	仕事と生活の調和推進企業宣言数（地域創生戦略総括KPI）	目標	200	200	200	200	200		
		実績（見込）	268	281	(450)	(200)			
		（単位当たりコスト）	(563千円)	(588千円)	(486千円)	(1,244千円)			
		うち事業拡大分	[56千円]	[51千円]	[7千円]	[312千円]			
達成率（見込）		134.0%	140.5%	(225.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・仕事と生活の調和（WLB）の実現を推進するための各種事業を実施することで、誰もが意欲と能力に応じた働き方を主体的に選択できる雇用就業環境の整備や、多様な人材の活躍と生産性向上により企業価値を高めていくことが必要であり、WLBの取組を拡大するために有効な事業である。</p> <p>・WLBに関する研修実施数は個別企業の課題に応じた出前型研修の実績が伸び、目標を達成した。</p> <p>・WLBに取組むことを内外に宣言した宣言企業数は、毎年目標を達成。宣言企業数累計は令和2年度末には2,650社を超える見込みであり、宣言企業1社あたりのコストは減少傾向の中、効果的な事業実施が図られている。</p> <p>・令和3年度は、ポストコロナ社会を見据え、県内中小企業のテレワーク導入・定着を一層促進するため、ICTアドバイザーの派遣や設備導入費の補助を実施する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	労政福祉課勤労者福祉班				
事業名	中小企業育児・介護等離職者雇用助成事業（平成21年度～）			連絡先	078-362-3362				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	9,200千円	12,100千円	46,500千円	46,500千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	9,200千円	12,100千円	46,500千円	46,500千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[勤労者福祉基金繰入金]）	(9,200千円)	(12,100千円)	(46,500千円)	(46,500千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,736千円	1,679千円	1,797千円	1,746千円			
		職員給与費 a	1,563千円	1,454千円	1,539千円	1,521千円			
		賞与引当金繰入額 b	110千円	116千円	110千円	116千円			
退職手当引当金繰入額 c		63千円	109千円	148千円	109千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	
		10,936千円	13,779千円	48,297千円	48,246千円				
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[1,500千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
			助成金支給件数（地域創生戦略事業KPI）	目標	105	120		120	120
		実績（見込）	24	31	(20)	(120)			
		（単位当たりコスト）	(456千円)	(444千円)	(2,415千円)	(402千円)			
		〔うち事業拡大分〕	—	[48千円]	—	—			
		達成率（見込）	22.9%	25.8%	(16.7%)	(100.0%)			
	女性（30～39歳）の有業率（地域創生戦略総括KPI）※5年ごと調査	目標	—	—	—	—	64.0		
		実績（見込）	—	—	—	—			
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—			
		〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
	達成率（見込）	—	—	—	—				
評価	<p>・ 少子高齢化や人口減少が急速に進展する中、誰もが意欲と能力に応じて就業を継続することができるよう、結婚・出産・育児・介護等による離職者の再就職を促進することが必要である。</p> <p>・ 社会保険被保険者であるアルバイト以外の非正社員についても助成対象を拡充したことにともない令和元年度に目標件数を見直したが、支給件数は達成率25%を超え、過去最高の実績となった。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中小企業の離職者再雇用への動きが鈍り、15%程度にとどまる見込み。令和3年度は求人企業へのダイレクトメールの送付などにより制度の一層の広報に努め、さらなる利用促進に努める。</p> <p>・ 女性（30～39歳）の有業率は、前回調査（平成24年 60.6%）に比べ平成29年は+約10%（70.2%）となっており、当助成金の主な対象である女性の就業は前進している。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	労政福祉課勤労者福祉班			
事業名	中小企業育児・介護代替要員確保支援事業（平成22年度～）		連絡先	078-362-3362			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額		
	事業費①	68,480千円	70,713千円	200,000千円	200,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	68,480千円	70,713千円	200,000千円	200,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他〔勤労者福祉基金繰入金〕）	(68,480千円)	(70,713千円)	(200,000千円)	(200,000千円)	
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,736千円	1,679千円	1,797千円	1,746千円	
		職員給与費 a	1,563千円	1,454千円	1,539千円	1,521千円	
		賞与引当金繰入額 b	110千円	116千円	110千円	116千円	
退職手当引当金繰入額 c		63千円	109千円	148千円	109千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	
		70,216千円	72,392千円	201,797千円	201,746千円		
	[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
	助成金支給件数 （地域創生戦略事業KPI）	目標	200	200	200	200	200
		実績（見込）	93	93	(100)	(200)	
		（単位当たりコスト）	(755千円)	(778千円)	(2,018千円)	(1,009千円)	
		[うち事業拡大部分]	—	—	—	—	
	達成率（見込）	46.5%	46.5%	(50.0%)	(100.0%)		
	女性（30～39歳）の有業率 （地域創生戦略総括KPI） ※5年ごと調査	目標	—	—	—	—	64.0
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	
達成率（見込）	—	—	—	—			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化や人口減少が急速に進展する中、育児・介護を担うライフステージにあっても、誰もが意欲と能力に応じて就業を継続することができるよう、育児・介護休業制度及び短時間勤務制度の利用を促進し、育児・介護による離職を防止することが必要である。 ・ 支給件数は、目標値を倍増した平成30年度から達成率が50%未満となり、令和2年度も50%程度に留まる見込み。令和3年度は一層の広報に努め、さらなる利用促進に努める。 ・ 女性（30～39歳）の有業率は、前回調査（平成24年 60.6%）に比べ平成29年は+約10%（70.2%）となっており、当助成金の主な対象である女性の就業は前進している。 						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	楽農学校事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	14,240千円		15,112千円		15,682千円		16,709千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	14,240千円		15,112千円		15,682千円		16,709千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,811千円)		(2,809千円)		(2,809千円)		(5,046千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔特定（地域創生基金）〕）	(1,765千円)		(1,653千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(9,664千円)		(10,650千円)		(12,873千円)		(11,663千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人
			15,619千円		15,118千円		16,169千円		15,723千円
		職員給与費 a	14,069千円		13,088千円		13,851千円		13,693千円
		賞与引当金繰入額 b	986千円		1,048千円		986千円		1,048千円
退職手当引当金繰入額 c		563千円		983千円		1,332千円		983千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人	
		29,859千円		30,230千円		31,851千円		32,432千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[986千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人)	目標	1,130	1,140	1,150	1,160	1,200	
	(ひょうご農林水産ビジョン2025)	実績(見込)		1,131	1,108	(1,150)	(1,160)	【7年度】	
		(単位当たりコスト)		(26千円)	(27千円)	(28千円)	(28千円)		
		[うち事業拡大分]		-	[1千円]	-	-		
		達成率(見込)		100.1%	97.2%	(100.0%)	(100.0%)		
	楽農学校就農コースを修了した新規就農者数(人)	目標		20	25	25	25	25	
		実績(見込)		18	15	(16)	(25)		
		(単位当たりコスト)		(1,659千円)	(2,015千円)	(1,991千円)	(1,297千円)		
		[うち事業拡大分]		-	[66千円]	-	-		
達成率(見込)		90.0%	60.0%	(64.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が暮らしの中で食と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、全県拠点である兵庫楽農生活センターにおいて、基礎的な栽培技術の習得から本格的な就農まで多様なニーズに応じた講座を実施することが必要である。 ・ 令和元年度の楽農生活交流人口は、年度末の新型コロナウイルス感染症拡大により、目標値の97.2%となった。 ・ 令和元年度の楽農学校就農コースを修了した新規就農者数は目標値の60%となったが、修了者18名のうち15名が就農、3名が研修継続と次代の担い手育成に大きく貢献している。 ・ 単位当たりコストは概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	ひょうご市民農園整備推進事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	6,689千円	1,792千円	72,632千円	33,150千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	6,658千円	1,776千円	72,610千円	33,150千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	31千円	16千円	22千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(58,600千円)	(23,640千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(6,689千円)	(1,792千円)	(14,032千円)	(9,510千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,603千円	2,520千円	2,695千円	2,621千円			
		職員給与費 a	2,345千円	2,181千円	2,309千円	2,282千円			
		賞与引当金繰入額 b	164千円	175千円	164千円	175千円			
退職手当引当金繰入額 c		94千円	164千円	222千円	164千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		9,292千円	4,312千円	75,327千円	35,771千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		登録市民農園数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目 標	450	460	411	415	427	
		実績（見込）	414	407	(399)	(415)	【6年度】		
		（単位当たりコスト）	(22千円)	(11千円)	(189千円)	(86千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	(92.0%)	(88.5%)	(97.1%)	(100.0%)			
	楽農生活交流人口(万人)（ひょうご農林水産ビジョン2025）	目 標	1,130	1,140	1,150	1,160	1,200		
		実績（見込）	1,131	1,108	(1,150)	(1,160)	【7年度】		
		（単位当たりコスト）	(8千円)	(4千円)	(66千円)	(31千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	100.1%	97.2%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験を希望する都市部住民に対して、より身近な農業体験の実践の場として市民農園を整備することが、県民が「食」と「農」に親しむ楽農生活や都市農村交流への気運の醸成を図るうえで有効である。 ・多様な実施主体を対象に助成し、着実に効果を上げる中、事業コストも効率的な負担に努めている。 ・目標達成できるように、効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班				
事業名	都市農村交流バス運行支援事業（平成16年度～）			連絡先	078-362-9198				
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	11,631千円	10,619千円	12,595千円	12,586千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	11,631千円	10,619千円	12,595千円	12,586千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(5,815千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔～R1地域創生基金〕 R3中山間基金）	(5,816千円)	(10,619千円)	(0千円)	(12,586千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(12,595千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			868千円	840千円	898千円	874千円			
		職員給与費 a	782千円	727千円	770千円	761千円			
		賞与引当金繰入額 b	55千円	58千円	55千円	58千円			
退職手当引当金繰入額 c		31千円	55千円	74千円	55千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		12,499千円	11,459千円	13,493千円	13,460千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025)	目 標	1,130	1,140	1,150	1,160	1,200	
		実績(見込)	1,131	1,108	(1,150)	(1,160)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(11千円)	(10千円)	(12千円)	(12千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率(見込)	100.1%	97.2%	(100.0%)	(100.0%)	/		
	都市農村交流バス乗車人数(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	12,500	12,500	10,000	10,000		10,000	
		実績(見込)	11,211	9,874	(1,860)	(10,000)	/		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(7千円)	(1千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	/		
	達成率(見込)	89.7%	79.0%	(18.6%)	(100.0%)	/			
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が暮らしの中で食と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、農村部と都市部との相互交流の推進が必要である。 ・ 令和元年度の楽農生活交流人口は、年度末の新型コロナウイルス感染拡大により、目標値の97.2%となった。 ・ 乗車人数については、近年のバス借上料の高騰等により、減少傾向となっている。 ・ 令和2年度からは1泊2日に限定していた宿泊制限数を撤廃し、より使いやすい制度とすることで、滞在型農林漁業体験事業への参加やより広範囲での都市農村交流を促進し、交流人口の一層の拡大に取り組んでいる。 ・ 単位当たりコストも概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班			
事業名	地域楽農生活センター開設支援事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	—		968千円		18,700千円		10,680千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		0千円
		委託料	—		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	—		968千円		18,500千円		10,500千円
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	—		0千円		200千円		180千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		(484千円)		(9,350千円)		(5,340千円)
		（県債）	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔特定（地域創生基金）〕）	—		(484千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	—		(0千円)		(9,350千円)		(5,340千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		0.3人		0.3人		0.3人
			—		2,520千円		2,695千円		2,621千円
		職員給与費 a	—		2,181千円		2,309千円		2,282千円
		賞与引当金繰入額 b	—		175千円		164千円		175千円
退職手当引当金繰入額 c		—		164千円		222千円		164千円	
総コスト（①+②）	従事人員	—		0.3人		0.3人		0.3人	
		—		3,488千円		21,395千円		13,301千円	
	[うち事業拡大分]	—		—		[6,544千円]		—	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025)	目標	1,130	1,140	1,150	1,160	1,200	
		実績(見込)	1,131	1,108	(1,150)	(1,160)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	—	(3千円)	(19千円)	(11千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	[6千円]	—			
		達成率(見込)	—	97.2%	(100.0%)	(100.0%)			
	地域楽農生活センター開設箇所数	目標	—	4	7	6	10		
		実績(見込)	—	2	(3)	(6)	【4年度】		
		(単位当たりコスト)	—	(1,744千円)	(7,132千円)	(2,217千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	[2,181千円]	—			
	達成率(見込)	—	50.0%	(42.9%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫楽農生活センターと連携し、楽農生活に係る情報発信、楽農生活推進に資する体験イベントや野菜等栽培講座の実施など、県下各地域で「農」の学びや体験の場の創出を支援することにより、楽農生活実践者の一層の拡大を図る上で有効である。 令和元年度の楽農生活交流人口は、年度末の新型コロナウイルス感染症拡大により、目標値の97.2%となった。 令和元年度の開設箇所数は、栽培講座の実施環境が整わなかったこと等により、目標値の50%となった。 令和2年度からは「ビギナー講座」を新たに設け、楽農生活実践者の裾野拡大を図っている。 地域楽農生活センター開設者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班		
事業名	世界にはばたけ兵庫プロジェクト（平成19年度～）			連絡先	078-362-9446		
事業に要するコスト	区分		30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額	
	事業費①		180,548千円	180,217千円	180,548千円	180,261千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	180,548千円	180,217千円	180,548千円	180,261千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(180,548千円)	(180,217千円)	(180,548千円)	(180,261千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	
			3,470千円	3,359千円	3,593千円	3,494千円	
	職員給与費 a	3,126千円	2,908千円	3,078千円	3,043千円		
	賞与引当金繰入額 b	219千円	233千円	219千円	233千円		
退職手当引当金繰入額 c	125千円	218千円	296千円	218千円			
総コスト（①+②）		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人		
		184,018千円	183,576千円	184,141千円	183,755千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
	国民体育大会天皇杯順位（男女総合成績） （スポーツ推進計画）	目標	8	8	8	8	8
		実績（見込）	10	13	中止	(8)	【令和3年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
	達成率（見込）	80.0%	61.5%		(100.0%)		
	ジュニアスポーツ教室参加者数の増加 （スポーツ推進計画）	目標	6,700	6,800	6,900	7,000	7,000
		実績（見込）	6,083	6,781	(6,900)	(7,000)	【令和3年度】
		（単位当たりコスト）	(24千円)	(25千円)	(25千円)	(26千円)	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
達成率（見込）	90.8%	99.7%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>令和2年の第75回国民体育大会については、冬季大会は実施することができたものの、本大会（鹿児島国体）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止となった。</p> <p>令和3年の第76回国民体育大会については、冬季大会・本大会（三重国体）ともに実施予定であり、引き続き、（公財）兵庫県体育協会及び競技団体と連携のもと、選手強化・育成に努め、天皇杯・皇后杯ともに目標達成に向けて取り組んでいく。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 神戸マラソン実行委員会事務局			
事業名	神戸マラソンの開催(平成23年度～)		連絡先	078-325-1430			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額		
	事業費①	67,800 千円	68,883 千円	68,883 千円	68,883 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	
		委託料	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他需用費等	0 千円	1,083 千円	1,083 千円	1,083 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(その他[])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(67,800千円)	(68,883千円)	(68,883千円)	(68,883千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	
			69,416 千円	67,192 千円	71,864 千円	69,880 千円	
		職員給与費 a	62,528 千円	58,168 千円	61,560 千円	60,856 千円	
		賞与引当金繰入額 b	4,384 千円	4,656 千円	4,384 千円	4,656 千円	
退職手当引当金繰入額 c		2,504 千円	4,368 千円	5,920 千円	4,368 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人		
		137,216 千円	136,075 千円	140,747 千円	138,763 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
		ランナーエントリー者数	目標	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績(見込)	74,851	79,196	延期	(79,200)	
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	—	(2千円)	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
		達成率(見込)	374.3%	396.0%	—	(396.0%)	
	ボランティア参加者数	目標	7,200	7,200	7,200	7,200	—
		実績(見込)	6,808	6,851	延期	(7,200)	
		(単位当たりコスト)	(20千円)	(20千円)	—	(19千円)	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
達成率(見込)		94.6%	95.2%	—	(100.0%)		
評価	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、「密集・密接」場面の回避や、運営スタッフ等医事救護体制の確保等が困難となることから、安全・安心な大会運営が困難であると判断し、やむを得ず令和2年度の実施を見送り、令和3年11月21日(日)(予定)に改めて「第10回神戸マラソン」を実施することと決定した。</p> <p>・ボランティア参加者については、今年度募集を行わなかった。令和3年度は目標数の充足を目指し引き続き広報等に力を入れる。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班				
事業名	「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-3788				
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①		7,263千円		7,783千円		7,921千円		7,832千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	5,716千円		6,236千円		6,447千円		7,512千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	1,547千円		1,547千円		1,474千円		320千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）		(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）		(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）		(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）		(7,263千円)		(7,783千円)		(7,921千円)		(7,832千円)
	人件費②（a+b+c）		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,603千円		2,520千円		2,695千円		2,621千円	
	職員給与費 a		2,345千円		2,181千円		2,309千円		2,282千円	
	賞与引当金繰入額 b		164千円		175千円		164千円		175千円	
退職手当引当金繰入額 c		94千円		164千円		222千円		164千円		
総コスト（①+②）		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		9,866千円		10,303千円		10,616千円		10,453千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[530千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の大会数		目 標		75	80	100	100	-	
			実績（見込）		63	59	(31)	(100)	-	
			（単位当たりコスト）		(157千円)	(131千円)	(342千円)	(105千円)	-	
			[うち事業拡大分]		-	[7千円]	-	-	-	
	達成率（見込）		84.0%	(73.8%)	(31.0%)	(100.0%)	-			
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の競技者・参加者数		目 標		18,800	19,900	21,000	21,000	-	
			実績（見込）		14,500	13,479	(5,000)	(21,000)	-	
			（単位当たりコスト）		(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	-	
			[うち事業拡大分]		-	[1千円]	-	-	-	
達成率（見込）		77.1%	67.7%	(23.8%)	(100.0%)	-				
評 価	<p>・一般県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供するとともに、本県開催競技の周知に向けた広報活動を展開するなど「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた機運醸成を図るのに有効である。</p> <p>・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の各府県市開催競技が平成28年度に決定したことに伴い、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が行う広報と連携し、本県開催競技を中心とした関西マスターズスポーツフェスティバルの広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。</p> <p>・R2年度は新型コロナウイルスの影響により、大会の中止が相次ぎ目標を達成することは出来なかったが、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」も延期となったため、R3度以降さらなる機運醸成及び参加促進をめざす。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班					
事業名	ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（平成30年度～）		連絡先	078-362-9446					
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	8,800千円	6,800千円	15,000千円	15,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	8,800千円	6,800千円	15,000千円	15,000千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[勤労者福祉基金繰入金]）	(8,800千円)	(6,800千円)	(15,000千円)	(15,000千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,603千円	2,520千円	2,695千円	2,621千円			
		職員給与費 a	2,345千円	2,181千円	2,309千円	2,282千円			
		賞与引当金繰入額 b	164千円	175千円	164千円	175千円			
退職手当引当金繰入額 c		94千円	164千円	222千円	164千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		11,403千円	9,320千円	17,695千円	17,621千円				
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	地域企業及び大学とSC21との連携チームやWMG2021関西大会開催団体競技の新チーム等の設立数	目標	75	100	100	100	100		
		実績（見込）	44	45	(2)	(100)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）	(259千円)	(210千円)	(8,848千円)	(176千円)			
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
		達成率（見込）	58.7%	45.0%	(2.0%)	(100.0%)			
	達成率（見込）	目標							
		実績（見込）							
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-			
		〔うち事業拡大分〕							
達成率（見込）		-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じて、ワールドマスターズゲームズ2021関西への県民の参加促進及び、大会の認知度向上を図る。 ・新型コロナウイルスの影響により、ワールドマスターズゲームズ2021関西は令和3年度から令和4年度へ延期が決定した。また、令和2年度は年間を通じて活動が自粛傾向にあったことから、チームの設立は2件に止まっている。 ・大会開催前年度である令和3年度は、大会参加者の獲得に向け積極的な広報を図るなど各クラブへの周知を徹底する。 								
	3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 国際広域スポーツ班			
事業名	東京オリンピック・パラリンピック応援事業 (H27年度～)		連絡先	078-362-3788			
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額	
	事業費①		10,379 千円	17,536 千円	103,396 千円	—	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	—	
		委託料	9,487 千円	12,716 千円	0 千円	—	
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	103,396 千円	—	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	—	
		その他需用費等	892 千円	4,820 千円	0 千円	—	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—	
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—	
		(その他[宝くじ発行益金収入])	(0千円)	(0千円)	(23,970千円)	—	
		(一般財源)	(10,379千円)	(17,536千円)	(79,426千円)	—	
	人件費② (a+b+c)		従事人員 0.8人	従事人員 1.2人	従事人員 1.2人	従事人員 —	
			6,941 千円	10,078 千円	10,780 千円	—	
	職員給与費 a	6,253 千円	8,725 千円	9,234 千円	—		
	賞与引当金繰入額 b	438 千円	698 千円	658 千円	—		
退職手当引当金繰入額 c	250 千円	655 千円	888 千円	—			
総コスト (①+②)		従事人員 0.8人	従事人員 1.2人	従事人員 1.2人	従事人員 —		
		17,320 千円	27,614 千円	114,176 千円	—		
[うち事業拡大分]		[0千円]	[7,157千円]	[93,017千円]	—		
事業目的の達成度指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
	県内施設を活用した事前合宿実施に向けた視察受入国(チーム)数 ※R2年度については合宿実施国(チーム数)	目 標	8	10	5	—	5
		実績(見込)	8	9	延期	—	【令和3年度】
		(単位当たりコスト)	(2,165 千円)	(3,068 千円)	—	—	/
		[うち事業拡大分]	—	[795千円]	—	—	
	達成率(見込)	—	(90.0%)	—	—	—	
	事前合宿時に実施した交流事業の参加人数及び視察人数	目 標	200	2,000	2,000	—	2,000
		実績(見込)	200	2,000	延期	—	【令和3年度】
(単位当たりコスト)		(87千円)	(141千円)	—	—	/	
[うち事業拡大分]		—	[54千円]	—	—		
達成率(見込)	100.0%	100.0%	—	—	—		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックの成功に向け、各国代表チームの事前合宿受け入れ及び交流事業を実施する。 ・国際レベルのアスリートが参加する大会や合宿は、県のスポーツ振興や地域の活性化などの成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲーム2021関西の成功につなげるため、本事業は有効である。 ・R2年度は東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となったことに伴い、ほとんど全ての事業が実施できなかった。R3年は感染状況が不透明であるが、可能な範囲で交流事業を実施していく。 						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	未来のスーパーアスリート支援事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額		
	事業費①	45,500千円	42,810千円	45,500千円	45,500千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	45,500千円	42,810千円	45,500千円	45,500千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(45,500千円)	(42,810千円)	(45,500千円)	(45,500千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,470千円	3,359千円	3,593千円	3,494千円	
		職員給与費 a	3,126千円	2,908千円	3,078千円	3,043千円	
		賞与引当金繰入額 b	219千円	233千円	219千円	233千円	
退職手当引当金繰入額 c		125千円	218千円	296千円	218千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	
		48,970千円	46,169千円	49,093千円	48,994千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】
	国内外で活躍する本県選手数(オリンピック等国際大会の出場者及び全日本選手権等全国大会の優勝・準優勝者) (スポーツ推進計画)	目 標	540	460	460	460	460
		実績（見込）	481	375	(85)	(460)	【令和3年度】
		（単位当たりコスト）	(102千円)	(123千円)	(578千円)	—	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
達成率（見込）	89.1%	81.5%	18.5%	100.0%			
評 価	<p>兵庫県のスポーツ選手がオリンピック・世界選手権等で活躍することは、県民に大きな夢と感動を与え、スポーツへの意識を高めるなど、本県のスポーツ推進に大きく寄与するものである。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症による感染拡大予防の観点により、国民体育大会・大学選手権・全国高等学校総合体育大会・全国中学校総合体育大会等、指標となる大会の多くが中止となったことにより、国内外で活躍する本県選手数が前年比で大幅に減少している。</p> <p>しかし、対象選手によるオリンピックや世界選手権等の国際大会に向けた強化の成果が東京五輪内定等で出ているところであり、引き続き1人でも多くの国内外で活躍する選手が輩出されるよう支援していく。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	県立美術館の元気づくり事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	7,280千円		7,280千円		7,280千円		7,280千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	7,280千円		7,280千円		7,280千円		7,280千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(5,570千円)		(5,570千円)		(5,570千円)		(5,570千円)
		（一般財源）	(1,710千円)		(1,710千円)		(1,710千円)		(1,710千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人
			2,603千円		2,520千円		2,695千円		2,621千円
		職員給与費 a	2,345千円		2,181千円		2,309千円		2,282千円
		賞与引当金繰入額 b	164千円		175千円		164千円		175千円
退職手当引当金繰入額 c		94千円		164千円		222千円		164千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
		9,883千円		9,800千円		9,975千円		9,901千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	400	400	400	700	700		
	KEN-VI文化セミナー入場者数	実績（見込）	1,292	2,638	(198)	(400)	/		
		（単位当たりコスト）	(8千円)	(4千円)	(50千円)	(25千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	323.0%	659.5%	(49.5%)	(57.1%)			
	学校関係団体等の入場者数	目 標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000		
		実績（見込）	13,323	10,512	(3,392)	(13,000)	/		
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(3千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）		102.5%	80.9%	(26.1%)	(100.0%)				
評価	<p>「KEN-VI文化セミナー」「学校関係団体等」の入場者数は、今年度については新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催回数の減少や学校団体等の受け入れの減少のため入場者数が減少したが、これまでは徐々に増加しており、事業実施効果が高くなっている。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を注視し、感染防止対策を講じたうえで、子どもたちや美術に関心の薄い層に美術に親しむ機会をつくることにより、将来的に芸術文化に興味を持ってもらえるよう、目標の達成に向けて継続的に取り組んでいく。</p>								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	篠山層群化石を活用した地域活性化の推進（平成18年度～）				連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	18,550千円		18,550千円		14,596千円		12,466千円	
	経費内訳	報酬・賃金	14,340千円		14,340千円		10,200千円		9,030千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	4,210千円		4,210千円		4,396千円		3,436千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(18,550千円)		(18,550千円)		(14,596千円)		(12,466千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			868千円		840千円		899千円		874千円
		職員給与費 a	782千円		727千円		770千円		761千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		58千円		55千円		58千円
退職手当引当金繰入額 c		31千円		55千円		74千円		55千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		19,418千円		19,390千円		15,495千円		13,340千円	
	[うち事業拡大部分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	33	50	60	68	合計100名		
	ボランティア人材の登録数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標）	実績（見込）	56	138	(150)	(150)	【令和8年度】		
		（単位当たりコスト）	(347千円)	(141千円)	(103千円)	(89千円)			
		[うち事業拡大部分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	169.7%	276.0%	(250.0%)	(220.6%)			
	目 標	目 標							
		実績（見込）							
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—			
		[うち事業拡大部分]							
達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<p>・化石の剖出作業には熟練した技術が必要であり、篠山層群化石の調査・研究を推進していくためには、更なる人材の育成が不可欠となっている。また、事業の活性化を図る上で、ボランティアの参画は重要であるが、育成・活用する仕組みがさらに重要であり、今後もこれらの仕組みの構築を目指していく。</p> <p>・予想を上回るボランティアの登録があり順調ではあるが、化石の剖出にあたっては、人材育成には多くの時間がかかるため、研修システムの見直しを図るなど効率的で安定した事業を推進していく。</p> <p>・ボランティア人材の登録は最終目標を達成している。今後も篠山層群化石の調査研究とともに活用を進めるには、ボランティア人材の参画が不可欠であることから、現在の規模を維持し、安定的に育成・活用できる体制づくりを構築する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		充実する「自分時間」			所管課班		文化財課文化財班							
事業名		ひょうごの歴史研究推進(平成27年度～)			連絡先		078-362-3784							
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額					
	事業費①		11,763千円		11,763千円		12,025千円		10,012千円					
	経費内訳	報酬・賃金	7,168千円		6,006千円		6,033千円		6,177千円					
		委託料	0千円		0千円		0千円							
		補助金・交付金	700千円		220千円		220千円		220千円					
		貸付金	0千円		0千円		0千円							
		その他需用費等	3,895千円		5,537千円		5,772千円		3,615千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(一般財源)	(11,763千円)		(11,763千円)		(12,025千円)		(10,012千円)					
	人件費②(a+b+c)		従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人				
			6,942千円		6,719千円		7,486千円		6,988千円					
	職員給与費 a		6,253千円		5,817千円		6,456千円		6,085千円					
	賞与引当金繰入額 b		438千円		465千円		438千円		466千円					
退職手当引当金繰入額 c		251千円		437千円		592千円		437千円						
総コスト(①+②)		従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人					
		18,705千円		18,482千円		19,511千円		17,000千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		30年度実績		元年度実績		2年度見込		3年度目標		最終目標【年度】	
	公開講座等の参加のべ人数		目 標		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000	
			実績(見込)		800		800		(1,000)		(1,000)			
			(単位当たりコスト)		(23千円)		(23千円)		(20千円)		(17千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
	達成率(見込)		80.0%		80.0%		(100.0%)		(100.0%)					
	「次回も公開講座に参加したい」と回答した参加者の割合		目 標		80%		80%		80%		80%			
			実績(見込)		80%		80%		(80%)		(80%)			
			(単位当たりコスト)		-		-		-		-			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
達成率(見込)		100.0%		100.0%		(100.0%)		(100.0%)						
評価	<p>・これまで同様、歴史博物館、考古博物館のほか、大学の研究者、市町文化財担当者に調査研究を委嘱することで事業コストの削減に努めてきた。</p> <p>・成果発表を洲本市文化体育館で開催するなど、広域的な調査研究を展開すると共に、淡路島日本遺産委員会と連携することで地域振興、観光振興に貢献できた。また、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会と連携して「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトを開始した。</p> <p>・公開講座等への参加のべ人数は前年度並みを維持しており、内容も好評価を得て、広く地域文化遺産のすばらしさを周知できた。また、5年の研究成果として令和2年3月に「たたら製鉄史料集」を刊行した。</p>													
3年目の見直し	-													